

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-181	24-046	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Evaluating the impact of minimum unit pricing (MUP) on alcohol sales after 3 years of implementation in Scotland: A controlled interrupted time-series study スコットランドにおけるアルコール販売における最小単位価格設定 (MUP) の3年間実装の効果の評価：対照設定中断時系列研究		
<b>執筆者</b>		
Giles L, Mackay D, Richardson E, Lewsey J, Robinson M, Beeston C.		
<b>掲載誌</b>		
Addiction. 2024 Aug;119(8):1378-1386. doi: 10.1111/add.16492.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
飲酒量、中断時系列分析、最小単位価格設定、政策分析、販売量		38685192
<b>要 旨</b>		
<b>背景：</b> 2018年からスコットランドでは、全てのアルコール飲料について強度による小売り最低価格を設定する最小単位価格設定 (MUP) を導入した。法律では6年ごとにその効果を評価することが求められている。MUP導入3年後の成人のアルコール販売量 (消費量の指標として) への効果を測定した。		
<b>方法：</b> MUP導入3年後のアルコール販売量を、イングランドとウェールズ (EW) を対照地区として、対照設定中断時系列回帰を用いて評価した。調整分析では、世帯可処分所得、オントレードアルコール販売量、飲酒カテゴリーの代替を共変量とした。2013年から2021年のスコットランドとEWの週当たり純アルコール販売量を成人一人当たり (L) で評価した。MUPの効果は、全体、オフトレード、オントレードのアルコール販売に分けて分析した。		
<b>結果：</b> スコットランドでは、MUP導入後に、調整後の成人一人当たり総アルコール販売量が3.0%低下した。これはスコットランドでの1.1%低下、EWでの2.4%増加を反映したものである。スコットランドでの低下は、ビール、スピリット、サイダー、ペリーの販売低下によるものである。全体販売量の低下は、オフトレード販売の低下が影響している。オントレードのアルコール販売低下は明らかではなかった。		
<b>結論：</b> MUP導入は、スコットランドでの3年後の集団全体でのアルコール販売量低下に効果を示した。		